



NO. 9

令和2年12月1日

神根小だより

12月号 川口市立神根小学校

在籍児童数 男子(185)名 女子(142)名 計(327)名 15学級

「体育・特別活動授業公開、合奏発表会をふりかえって」

校長 中村 義郎

去る11月7日(土)に、体育科及び特別活動の授業公開の機会として「かみねっ子スポーツフェスティバル」を実施いたしました。走る運動を中心に、練習に取り組み、その成果を児童相互に見合い、保護者の方にも参観していただく場として設定いたしました。

1・2年生は40m走で直線を全力で走りきること、3～6年生は、リレーを行い、コーナー走及びバトンパスをスムーズに行うことを目標に練習をしてきました。当日は、1・2年生は元気な走り、3・4年生は体を傾けたコーナー走、そして5・6年生は、スムーズなバトンパスと迫力ある走りを披露してくれました。

また、もう一つ、各学年において団体競技種目を設定しました。玉入れ、綱引き、障害走等を密にならないルールや人数を工夫して実施いたしました。6年生は表現運動「神根ソーラン2020」に取り組みました。競技は白熱したものとなり、6年生の表現は、どの児童もいきいきとした表情で、とてもきまっていました。

1年生と6年生、2年生と4年生、3年生と5年生が互いの種目を見合い、あまり大きな声は出せないで、拍手を中心として応援をしました。

本日に久しぶりの学年及び全校での取組でしたので、子供たちは、張り切って取り組んでいました。特に1年生は、初めての全校の取組ということもあり、中には、前の日からとても楽しみだった、おうちの人に作ってもらったお弁当がとても美味しかったと、目を輝かせながら感想を述べていた子がいました。運動会は中止となりましたが、このような授業公開の機会を設けることができ、よかったと思っています。

当日、1家庭1名の参観のお願いさせていただきました。ご覧になりたかったご家庭の方もいらっしゃると思いますが、ご理解・ご協力をいただいたことに感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

11月20日(金)には、「かみねっ子音楽発表会(合奏発表会)」を児童のみ参加の形で行いました。

今年度は音楽の授業において暫くの間、合唱及びリコーダー・鍵盤ハーモニカ等、息を吹き込んで演奏する楽器の使用を見合わせておりました。その間は、リズム打ち、鑑賞等の活動を優先的に行ってきました。一方で3～6年生の音楽の授業では、打楽器や電子キーボード、木琴、鉄琴などの楽器を用いた合奏の授業を行ってきました。せっかくですので、これらの演奏を発表し合う機会を設定したいと考えていました。

普段の音楽会ですと、これらの楽器は演奏を希望しても数の関係で、できないことがあるのですが、今年はクラスを2つに分けて、普段の授業で継続的に取り組んできましたので、全員の児童が責任感をもって演奏することができました。

当日は、密を避けるため、2・4年生、3・5年生が互いの演奏を見合いました。短時間ではありましたが、価値ある時間となりました。1・2年生、なかよし学級の児童は、状況を踏まえ、学校医とも相談し、ビデオで録画したものを鑑賞する形式といたしました。このような中ですが、音楽に親しむことで豊かな心をはぐくみたいと考えます。

これらの取組は、児童数の多い学校では、どうしても密を避けることができず実施できない場合があると思います。本校の規模ですので何とか実施できたものと考えています。

新型コロナの感染は、県内及び市内においても急増しており、先行きは不透明です。児童の安全を第一に考え、今一度、感染防止対策を確認しながら、今できる教育活動を実施して参ります。ご家庭におきましても、引き続き、児童やご家族の健康観察及び風邪症状がある場合の登校見合わせ等、感染防止対策へのご協力をお願いいたします。